

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	広聴事業				担当部	市長公室	担当課	広報広聴課	担当係	広聴係					
実施計画	3	年目													
新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	7	自治体経営	31	行政運営	1	情報の共有化を推進します						
予算区分	一般会計		款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	広報広聴費	大	4	中	1
根拠法令・個別計画	①		②		③										
事業の概要	何(誰)を対象に	市民(在住、在勤、在学)													
	どのような状態にするか	市民ニーズに基づく市政を実現するため、市民の意見を聴く機会の充実を図り、市政運営の参考とできるようにする。また、必要に応じて、意見提出者への説明等の回答をし、市民の市政参加促進を図る。													
	どのような事業を実施するか	<p>○タウンミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長が、直接市民の皆様から市政報告をし、市民の皆様からの質疑応答を行うことで、市政への理解を深めていただき、市民と行政の協働によるまちづくりの促進を図る。 ・市政全般を対象とするもののほか、特定のテーマを対象としたものや、中学生や高校生を対象としたものも開催し、テーマや年代を特化した方法も取り入れている。 <p>○市民の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政への意見、質問を常時受け付け、全ての意見を市長へ届けることで、市政運営の参考としている。 ・提出方法(市HP入力フォーム、専用封筒、専用FAX、投書箱)を複数設けることで、意見提出者の負担軽減、利便性向上を図っている。 <p>○パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活に広く影響を及ぼす市の基本的な施策を定める計画や方針の策定や条例の制定等を行う際に、市の意思決定過程において計画等の案を公表し、広く意見を求め、提出された意見に対する市の考え方を明らかにして、意思決定を行う。 <p>○市政モニター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が依頼するテーマ別のアンケートへの回答を中心としたモニター制度。 ・モニターは、毎年度募集(定員100名、18歳以上の市内在住、在勤、在学者対象)する。 													
年度別事業内容	28年度	<p>事業内容</p> <p>○タウンミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧の教育を考えるタウンミーティング (5月15日開催、参加者(市内小・中学校 保護者)23名) ・子育て世代タウンミーティング (11月26日開催、参加者(保育園(20園)、第一幼稚園の園児保護者)36名) ・高校生タウンミーティング (8月1日開催、参加者(誉高等学校生徒)14名) ・中学生まちづくりミーティング (8月25日開催、参加者(味岡、岩崎、小牧西中学校生徒)18名) <p>○市民の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受信件数276件 (内訳:市HP入力フォーム119件、意見提出用封筒118件、本庁舎投函箱等39件) <p>○パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施案件数7件 (意見提出数:6名、19件) <p>○市政モニター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニター数100名、アンケート実施数2回(①「もっと見たくなるホームページになるためには」回答率89%、②「効果的な健康づくりについて」回答率87%) 													

事業の概要	29年度	<p>○タウンミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の事業・予算説明と市政報告（市民の自由参加による。5月21日市役所140名、23日東部70名、26日味岡79名、31日北里64名） ・中学生まちづくりスクールミーティング（8月29日開催、参加者（小牧、応時、北里中学校生徒）23名） ・高校生まちづくりスクールミーティング（10月20日開催、参加者（小牧南高等学校生徒）14名） <p>○市民の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受信件数220件（内訳：市HP入力フォーム111件、意見提出用封筒77件、専用FAX5件、本庁舎投函箱等27件）封筒設置箇所（12箇所） <p>○パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施案件数9件（意見提出数：97名、117件） <p>○市政モニター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニター数92名、アンケート実施数2回（①マイナンバーカード関連 回答率87%、②夏まつりについて 回答率76%）
	30年度	<p>○タウンミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政報告とまちづくり懇談会（市民の自由参加による。5月20日市役所98名、22日北里70名、25日味岡87名、29日東部70名） ・中学生まちづくりスクールミーティング（6月9日開催、参加者（市内各中学校生徒）27名） ・高校生まちづくりスクールミーティング（8月7日開催、参加者（小牧高等学校生徒）14名） <p>○市民の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①市HP入力フォーム②意見提出用封筒（公共施設12箇所に設置）③専用FAX④意見投書箱にて意見を受付。 <p>※意見提出用封筒設置箇所（12箇所） 市民会館、中部公民館、東部市民センター、味岡市民センター、北里市民センター、都市センター、図書館、まなび創造館、パークアリーナ小牧、西部コミュニティセンター、南部コミュニティセンター、本庁舎1階総合案内</p> <p>○パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定案件数1件 <p>○市政モニター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニター数89名、アンケート実施予定数2回程度

事業費	内訳(千円)	H28		H29		H30
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
		合計	1,449	290	978	533
財源内訳(千円)	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,449	290	978	533	1,478
	特定財源の説明					
事業費内訳(千円)	細々節	H28		H29		H30
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
	タウンミーティングコーディネーター謝礼	81	40	81	0	60
	市政モニター謝礼	200	88	200	75	150
	タウンミーティング参加記念品料	105	16	30	19	30
	タウンミーティング市民スタッフ謝礼	45	4	0	0	0
	特別旅費	43	41	43	33	43
	食糧費	23	9	26	8	30
	印刷製本費	20	17	20	17	20
	修繕料	50	0	50	0	50
	通信運搬費	66	43	66	38	66
	筆耕翻訳料	784	0	430	312	997
	研修会負担金	32	32	32	31	32
	正職員(人数)	2	2	2	2	2
	その他職員(人数)	0	0	0	0	0

業績	ステップ	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
		①	市民の意見を聴く機会が充実していると思う市民の割合	%	目標	46.5	46.5	46.5	46.5	46.5
					実績	42.1	38.7	61.0	62.1	
②	タウンミーティング参加者の内「参加して有意義であった」と回答した人の割合		目標	-	-	-	-	100.0		
			実績	97.3	64.7	95.6	81.6			
ステップI	①	事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
		タウンミーティング開催回数	回	目標	-	-	-	-	6	
				実績	8	4	4	6		
		②		目標						
実績										
ステップII	事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因									
	H29実施結果	平成29年度は、27年度同様、誰でも参加でき、各般にわたる質疑応答形式で開催した。また、今までの手あげ方式から用紙に意見等を記入いただいたものを基に、質疑応答を進める方式に変更し参加者の意見を会の中で多く反映できたことで、満足度が向上したと考えられる。(なお、28年度は学校及び保育園推薦の方の参加によるテーマを特定したグループ討議・発表の形式で実施した。)								
	今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し									
H29実施結果	今後も同程度の割合を維持できる見込みである。「市民の声」制度では、市内12箇所を設置している封筒の箇所別利用状況の把握を行い、より効果的な箇所に設置できるよう見直す。タウンミーティングにおいては、開催形式や開催日時等を検討し、より多くの市民が参加する機会を得られるよう改善を図る。									

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	判定理由	タウンミーティング参加者のアンケート結果を検討し、現状の広聴事業の規模であれば、目的に対する成果が見込めると判断したため。	